

# センテンスとパラグラフ

テクニカルドキュメンテーションII

2025.05.09 Kenichi Wakabayashi

# センテンスとパラグラフ

センテンス：文章（ひとつの文章の始まりから終わり（句点かピリオド）まで

パラグラフ：段落（意味のある複数の文章の集まり）

# センテンス

# 1つのセンテンスで1つのことを伝える

英語のセンテンスの決まりは、「1つのセンテンスで1つのことを伝える」です。1つのことだけを伝えるように書くことで、センテンスは読みやすくなります。

日本語の1文を、英語の1センテンスに対応させる必要はありません。日本語の1文に複数の内容が含まれている場合は、それを解きほぐして、英語では、1つのセンテンスで1つのことを伝える、または少なくともメインのメッセージを1つに絞るように書きます。

# センテンスの構成の仕方

## 短く区切って書く

1つのセンテンスで1つのことだけを伝えるためには、まずはセンテンスを短く区切ります。それから情報を整理して、つなぎ直します。関係代名詞や分詞、または前置修飾句などを使ってつなぐことができます。

## 《例1》

窒素は自然界に豊富に存在しており、動植物の成長と生殖に不可欠である。

→ Nitrogen is abundant in nature, and it is essential for growth and reproduction in plants and animals.

「窒素は自然界に豊富に存在する」「窒素は動植物の成長と生殖に不可欠である」という2つの異なる情報が1つに収まっています。2つに区切り、改めてつなぎ直します。

区切る:

Nitrogen is abundant in nature. It is essential for growth and reproduction in plants and animals.

つなぐ:

Nitrogen, which is abundant in nature, is essential for growth and reproduction in plants and animals.

## 《例2》

ディープラーニングモデルはブラックボックスであって、予測には不確実性が存在している。

→ Deep learning models are black boxes and their predictions involve uncertainties.

「ディープラーニングモデルはブラックボックスである」「その予測には不確実性が存在している」という、因果関係のある2つの情報が1文に入っています。

区切る（主語をそろえる）：

Deep learning models are black boxes. Such models involve uncertainties in their predictions.

つなぐ：

Deep learning models are black boxes and involve uncertainties in their predictions.

### 《例3》

QB社は世界最大の半導体メーカーで、15カ国で製造事業を展開する世界最大の半導体メーカーであり、マイクロプロセッサからメモリーやチップ、パワーデバイスに至るまで、様々な半導体製品を提供している。

→ QB company is the world's largest semiconductor manufacturer and has about 100,000 employees and manufacturing operations in 15 countries, and offers a variety of semiconductor products ranging from microprocessors to memory chips and power devices.



区切る:

QB company is the world's largest semiconductor manufacturer.

QB has about 100,000 employees and manufacturing operations in 15 countries.

QB offers a variety of semiconductor products...

つなぐ1:

QB company, which has about 100,000 employees and manufacturing operations in 15 countries, is the world's largest semiconductor manufacturer, offering...

つなぐ2:

Having about 100,000 employees and manufacturing operations in 15 countries, QB company is the world's largest...

# センテンスは正しくまとめることが重要

センテンスの構成の仕方で大切なことは、はじめからまとめて書こうとしないことです。はじめに短く区切っておくことにより、どの部分をどのようにまとめればよいかについて書き手自身が整理しやすくなり、最終的に完成するセンテンスが、読みやすくなります。

## センテンスのPOINT

- 1つのセンテンスで1つのことを伝えるように、短く区切って書く。
- 短く区切って書いた後、関連する複数のセンテンスをまとめると、読み手の要求に応じた読みやすいセンテンスが完成する。

# パラグラフ

# 1つのパラグラフは1つの話題について書く

英語のパラグラフの決まりは、「1つのパラグラフは1つの話題について書く」です。各パラグラフを構成する複数のセンテンスが、すべて、そのパラグラフの話題に関連するように書きます。

また、和文の「段落」は、英文のパラグラフとは異なり、書き手が「そろそろ切ろうかな」と思った場所で適当に改行して構成されていることがあります。その結果、英語とは異なり話題が明確に決まっていない文、本文の流れがいつまでも同じ調子で、全体が読みづらくなってしまいます。段落＝話題という意識を持って書くことが必要です。

# 話題を明示してから詳しく説明する

英語のパラグラフでは通常、話題をはじめに明示し、その後、その話題について詳しく説明していきます。

話題を示すセンテンスをトピックセンテンス (topic sentence)、詳細な説明をするセンテンスを **サポーティングセンテンス (supporting sentence)** と呼びます。

# トピックセンテンスとサポーターティングセンテンス

トピックセンテンスは、パラグラフの話題を示すセンテンスで、話題を明示するように書きます。多くの場合、トピックセンテンスはパラグラフのはじめに置きます。

サポーターティングセンテンスは、話題を詳しく説明します。トピックセンテンスとサポーターティングセンテンスを複数使って説明する場合があります。

# パラグラフの長さ

各パラグラフは、読み手が一思いにする程度の長さが適切です。対象となる読み手によって、適切な長さは異なります。報告書や論文では、5～6行が多いでしょう。マニュアル（説明書）や報告書（簡潔）では、2～3行が適切です。



# パラグラフの論理展開

読み手が論理的に理解できるように、パラグラフを構成するセンテンスには、一定の論理的順序に従って並べる必要があります。

代表的な論理展開：

- a. 時間順 (time)
- b. 空間順 (space)
- c. 重要度順 (priority)
- d. 一般事項から特定事項へ (general to particular)
- e. 「何」から「どのように」 (what to how)
- f. 「知られているもの」から「知られていないもの」 (known to unknown)

## 時間順 (time)

出来事や手順を時間に沿って説明します。

例：

The first practical application of high-speed photography was Eadweard Muybridge's 1878 investigation into...

## 空間順 (space)

「上から下」「右から左」などの一定の空間順序に沿って説明します。

例：

A robotic arm is a type of mechanical arm, usually programmable...

## 重要度順 (priority)

重要の高い事柄から順に説明します。

例：

On Human Rights Day, the European Union joins the world in celebrating the 75th anniversary...

## 一般事項から特定事項へ (general to particular)

まず一般的な情報を提示し、そのあとに具体的な事例や詳細を述べる順序です。  
この展開は、概要を伝えたあとに焦点を絞っていくので、読者にとって理解しやすくなります。

例 (Wikipedia引用の典型的なスタイル) :

A computer is a general-purpose machine that can be programmed to carry out a set of arithmetic or logical operations automatically.

Modern computers can perform a wide range of tasks such as word processing, web browsing, and gaming.

## 「何」から「どのように」 (what to how)

物事の概要や定義（「何」）を説明し、その後、それがどのように機能するか（「どのように」）を説明する構成です。

読者に新しい概念を紹介した後、実際の使い方や仕組みに踏み込むことで、知識を段階的に深める効果があります。

例：

A solar panel is a device that converts sunlight into electricity.

It works by allowing photons from sunlight to knock electrons free from atoms, generating a flow of electricity.

## 「知られているもの」から「知られていないもの」へ (known to unknown)

読者がすでに知っている情報を起点にして、新しい情報や結論へと導く構成です。  
前提知識を足場にすることで、読者の理解がスムーズになります。

例：

Most people are familiar with GPS in smartphones.

However, the same technology is also used in autonomous drones for precise navigation in disaster zones.